

2013年
夏号

埼玉県議会議員

高木 まり

さいたま市議(2期)を経て、2011年4月より県議。福祉保健医療委員会、公社事業対策特別委員会所属



高木 まり

事務所連絡先 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-18 TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail:takagi@marit.jp

埼玉県の医師不足、解決へ提案

高木まり 6月定例会の 一般質問に 立つ

埼玉県議会6月定例会が6月10日～28日に行われ、高木まりは2回目の一般質問に立ちました。9項目にわたり、未来を見据えた質問と提言を行いました。

- 埼玉県の医師不足対策について
- がん対策について
- 首都直下型地震の到来に備える危機意識について
- ひきこもり対策について
- 新しい公共・共助社会の時代とNPOについて
- 世界盆栽大会の本県開催について
- 見沼たんぼの活用について
- 大宮署移転に伴う大宮北署新設の可能性についてなど。



質問の内容とその答えは、次ページをご覧ください

6月定例会に議員報酬削減条例を提出

自公の反対で否決される

高木の所属する民主党・無所属の会は、6月定例会で県議会議員の報酬を10%削減する条例案を提出しました。

これは、6月定例会に職員給与削減条例が出されていたことに伴うもので、職員と痛みを分かち合い、本県の厳しい財政状況に少しでも議員が協力すべきではないかとの考えから提出したものです。

埼玉県議会では、大震災を受け、平成23年度に他都道府県議会にも例のない20%削減を1年間実施していますが、今回はまた削減を実施すべき別の事情がありました。国が本年度の交付税につき、全国一律の自治体職員給与カットを前提に、大幅に削減する方針を示しており、本県の財政は、職員給与削減を行ってもなお不足が生じるほど、厳しい状況になっているからです。

しかし、残念ながら自民・公明両会派の反対により、今回の議員報酬削減条例案は否決されてしまいました。

高木まり、県に問う

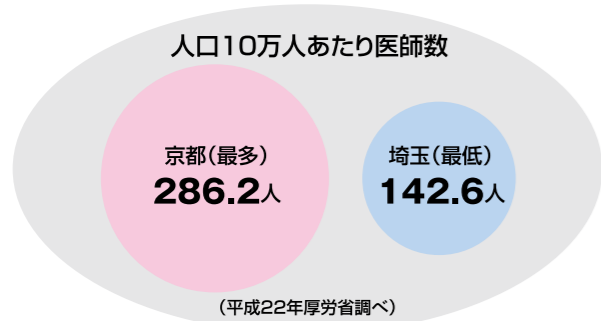


※ここでは、1時間余りの質問と答えの中から、主なやりとりを抜き出しています。詳細については、県議会のHPをご覧ください。

医師不足

Q 埼玉県の医師不足、解決の力を握る国をどう動かしていくのか？

A (知事) (最終的に医師数と関係してくる) 基準病床数の見直しが一番有効な方法だと思っており、「平成26年度国の施策に関する提案・要望」でも制度見直しを重点事項として強く要請した。関東地方知事会でも国に医師確保を求めている。今後も作戦を練って成し遂げていきたい。



がん対策

Q 本県のがん患者に身近に利用できる情報を提供する冊子「患者必携」の作成は？

A (保健医療部長) 患者・家族の方の不安な気持ちを和らげ、納得のいく療養生活を支えるには、相談体制などについての身近な情報提供は大切だ。HPによる情報提供の準備をしていく。

がんの地域医療情報

県HPで紹介へ

県は14日、がん患者やその家族が必要とする地域の医療情報をホームページで紹介する考えを示した。県議会一般質問で、県立・保健医療部長が答弁した。患者団体の医療機関の最新情報を知り、患者の不安を軽減する。国立がん研究センターはがん情報を発信する「がんナビ」を構築しているが、医療機関や地域の情報は書かれていない。

県は自治体以外の医師に意見を聞く「セカンドオピニオン」を実施している施設や患者団体の情報を提供する考え。県立部長は「がん患者や家族の不安を和らぎ、納得のいく療養生活を支えるための情報提供が大切だ」と話した。

産経新聞6月24日にも掲載

未来を見据え、質問、そして提言

ひきこもり対策

Q 県内に約4万2千人と言われるひきこもり状態の方やその家族に、しっかり支援を届けるには、保健所における対応力をもっとあげるべきと考えるが、いかがか。

A (保健医療部長) 現在の保健所の相談体制がHP上で見つけにくい点を早速改善するとともに、相談スタッフのスキルアップを作成中の事例集を活用してケーススタディを重ねて進める。当事者や家族が専門家による講演会を聴ける機会も増やしていく。

NPOとの協働

Q 新しい公共・共助社会の時代においてNPO法人の活躍の場は広がっているが、指定管理制度はNPOや企業など「民」への更なる門戸拡大の意向があるか。

A (企画財政部長) 指定管理制度では、民間の創意工夫を生かし、利用者サービスの向上や経費縮減を図ることに目的があり、制度導入以来、公募の割合を高めてきたが、今後も公募による選定を推進することで、民間機関の参入の機会拡大に努めていく。

盆栽でアピール

Q 世界盆栽大会の2017年大会が本県開催の運びだが、県の協力は？

A (知事) 日本の盆栽は世界の盆栽である。第8回大会がさいたま市開催と決まった暁には、県としてもPRの面で必要な支援を行うと同時に、世界からのお客様に本県の魅力をアピールする絶好の機会なので、十二分に発信できる仕掛けをしていく。

見沼田んぼ

Q 見沼田んぼ保全のために、県で公有地化した農地は、農地としての活用が一層進むよう新たな担い手に積極的に貸すべきと考えるが、いかがか。

A (企画財政部長) 平成24年度から、良好な土地を選定して、見沼田んぼ内の営農者や県農林公社の実践研修を修了した新規就農者、農業生産法人などに貸付を開始しており、今後も積極的に行っていく。

大宮警察署移転

Q 大宮警察署の建替えに伴い、移転先がさいたま市北区からは最も遠いことから、地元において大宮北署の新設を求める声が上がっているが、設置できないか。

A (県警本部長) 警察署の新設は、人口・治安情勢・道路網などを総合的に分析検討するが、現時点で大宮北署は難しい。しかし北区住民の不安は大いに理解できるので、大宮署と機動捜査隊等が協定を締結し、諸対策を推進している。また、移転改築した加茂宮交番へのパトカー常駐や本郷交番の今後の機能強化など、北区の治安対策に努めていく。



高木まりの質問が埼玉新聞に取り上げられました

埼玉新聞
平成25年6月15日

家具転倒防止へ対策

首都直下型地震に備え、上田清司知事は14日8月定例県議会にて、「住宅やオフィスの家具転倒による死者を防ぐことが人命を守る上で最も効果的」と述べ、家具の転倒防止を全県民に呼びかけていく方針を示した。高木真理氏に答えた。

(民主・無所属の会の一般質問に答えた。)

県危機管理課によると、県内の耐震工事が済んでいる建物は88%(2008年・住宅計調査)に達しているが、家具の固定化は45%(12年・県政サポーター)。

また、知事は来年3月までに県庁内の全コッターなどの転倒防止対策を実施すると、市町村にも家具などの転倒防止を促すよう呼び掛けていく考えを示した。(男の花子)

首都直下型地震に備えるには、「まず死なない」心構えから、発災時に家具の下敷きになって命を落として、救助も備蓄食料も意味をなしません。家具の転倒防止、庁舎内からまず実践を。

アンケートにもなっています。県民の耐震意識は、住居の外に限りは高く、内面に関しては低い。

上田知事は「県内で意識改革を広めるのは難しい。家具を固定化した人に強要でプレッシャーをかけるよりも、ボランティアの活動なども検討していきたい」と語った。

6月定例会での主な条例・補正予算案

職員給与削減条例

国が本年度予算につき、一律に自治体職員の給与削減を要請し、それに伴う交付税を削減するとしてきた問題で、埼玉県でも職員給与を平均で6.0%削減する条例案が提出され、可決されました。財源不足に対する苦渋の決断です。

高木は、職員の皆さんに給与削減をお願いするからには、議員報酬も削減すべきとの立場で条例提案を行いました。自公会派の反対で否決されました。

救急車へのタブレット端末配備予算

本年1月、久喜市の男性が救急車の中で搬送先の病院が見つからず、ようやく運び込まれた病院で死亡が確認された事件がありました。

再発防止の取り組みを検討する中から、佐賀県で実績のあるタブレット端末の全救急車への配備が補正予算提案され、可決しました。

視察報告

5月21日～23日で福祉保健医療委員会の視察を行いました。

奈良県立医大

医学部設置と県内医師確保について調査しました。



大阪府立成人病センター

ロボット(ダヴィンチ)を使った腹腔鏡下前立腺全摘除術など最先端のがん治療を学びました。



滋賀県立近江学園

知的障害児療育の草分け的存在の施設です。「この子らを世の光に」の素晴らしい理念で創設。



社会保険大宮総合病院

公的病院として存続・建替えへ！



社会保険大宮総合病院について、プラザノース北側の市有地に移転・建て替えを行い、公的病院として存続することが決まりました。

高木まりも、市議時代からずっと取り組んで来た問題で、県議となっても度々国への働きかけを行ってきたので、今回ご報告ができることを非常に嬉しく思います。

大宮総合病院については、3市合併時から存続問題が起りましたが、その後運営母体の社会保険庁が消えた年金問題などで改革の対象となる中、2009年3月に自民党政権が「社会保険病院は基本売却」という方針を決定、問題が新たな局面に発展していました。

しかしその後、民主党政権が、社会保険病院を公的病院として原則存続させる方針に転換。大きく公的病院としての存続に道を開くとともに、病院運営の受け皿となる新組織（地域医療機能推進機構）の設立もすすめました。また、地元の枝野幸男衆議院議員から、小宮山洋子厚生労働大臣（当時）に強く働きかけも行い、結果的に今回の決定に道を開きました。

長期間にわたり、大宮総合病院で診療をがんばられた皆さんをはじめ、さいたま市関係者や各級議員が存続に向けて努力を重ねてきたことの総合的な結果でもあります。

高木まりは、今後とも、建て替えられる病院がより良い環境のもと運営できるよう、協力してまいります。

風しんにご注意！

さいたま市でも助成・予防接種にご協力を
生まれてくる赤ちゃんを風しん症候群から守ろう

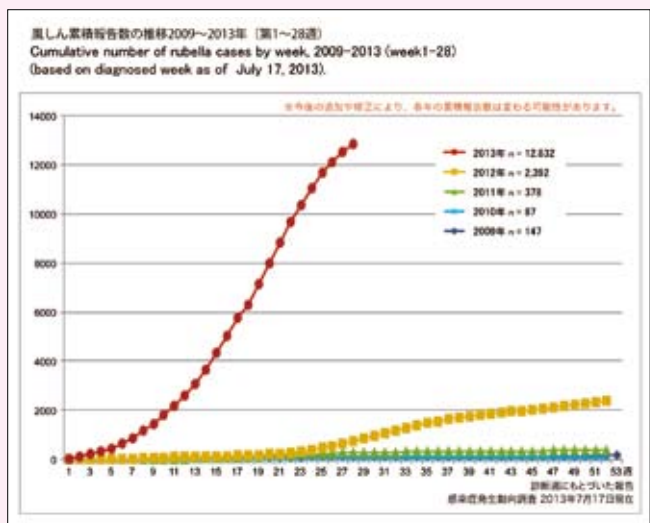
今年は風しんが大流行しています。ここに来て減少傾向が見られますが、それでも例年の数倍の発症が報告されています。

風しんは、妊娠のごく初期にかかる、生まれてくる赤ちゃんに7割近い高い確率で風しん症候群（視力・聴力などへの障害）が発症することがわかっています。妊娠がわかってから予防接種をしたのでは間に合いません。そこで、まず風しんを流行させないことが最も重要ですが、予防接種をある時期まで女子にしか接種しなかった日本では、男性を中心に今回の風しん流行が起きています。

妊娠を希望される女性とそのパートナーの方は、ぜひ予防接種を受けてください。

高木は、予防接種を受けやすくするための助成を国又は県で行うべきと考え、働きかけを行ってきましたが、残念ながら、国への要望書提出も反対多数で叶いませんでした。

しかし、さいたま市の助成が始まりました。ぜひご利用ください。



出典：国立感染症研究所ホームページ

高木まり県政報告会

プロジェクトミーティングのお知らせ

「県では何をやっているの?」「ニュースを見ていて意見がある!」「自分の住んでいるまちはどうなるの?」…こんなことを考えている皆さん、ぜひお気軽にお出かけください。予約や入場料はいりません。

●とき：9月1日(日) 14:00～16:00

●テーマ：県の施設はどうあるべきか?
～「もっと、こうして」から「あれは、いらない」まで～

●ところ：プラザノース第3セミナールーム

さいたま市北区宮原町1丁目852番地1 TEL：048-653-9255

*駐車場あり *電車：ニューシャトル「加茂宮駅」徒歩5分

*バス：JR宮原駅より「メディカルセンター行き」本郷住宅下車
JR大宮駅より「上尾行き」北区役所下車

編集後記

暑い夏、そして少々水不足が心配な夏を迎えています。皆さん、お元気ですか。

私は6月定例会で県議会2回目の一般質問という大きな山をようやく越えたと思ったところで、参議院選挙に突入。ハードな展開でした。

参院選の大敗は、色々思うところがあります。しかし、とにかく地方議員としては、この埼玉県でできることを一生懸命やるしかない、と思っています。

我が家の子ども達は夏休み。上の子(小3)は、自由研究をおいしいちゃんに手伝ってもらおうと言っています(笑)。

来年度の予算要望の取りまとめが始まり、息つく暇のない今日この頃ですが、がんばって元気に進んでまいります!よろしくお願いたします。(高木)